

とよなか

教え子を再び戦場に送るな！ 2012年7月13日発行 NO. 484

子ども達の豊か
な成長・力の
ために皆で力を
合わせましょう！

大飯原発再稼働に反対する国民の声や行動が、かつてない規模で広がりをみせています。毎週金曜日夕刻に行われている首相官邸前の抗議行動には、ツイッターでの呼びかけに原発再稼働前の6月29日が20万人、再稼働後も7月6日に15万人が首相官邸前で抗議の声をあげています。来週16日には東京の代々木公園で呼びかけ人「さよなら原発一〇〇〇万人署名市民の会」(内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田慧・坂本龍一・澤地久枝・瀬戸内寂聴・辻井喬・鶴見俊輔)による「さよなら原発10万人集会」が開催されます。全教豊中からも参加予定です。

原発ゼロに向けて「ツイッターつながり」で「アラブの春」の如く多くの市民が声を上げ、歴史が大きく動き始めています。

さよなら原発10万人集会(7・16) 大江健三郎・瀬戸内寂聴・坂本龍一さんら9氏がよびかけ

東京・代々木公園で開催

現在の原発の技術は未完成です。福島原発事故は核エネルギーを取り出す段階で生まれる放射性物質を原子炉内部に閉じ込めておく保証がない事をしめしました。

100万キロワットの原発を1年間運転してできる放射性物質 (単位:京ベクレル)

放射性核種	半減期	生成量
クリプトン85	10.7年	2.2
ストロンチウム90	28.8年	19
ジルコニウム95	64日	590
ルテニウム106	372日	70
ヨウ素131	8日	310
セシウム133	5.24日	630
セシウム137	30年	21
セリウム144	285日	410
プルトニウム238	88年	0.37
プルトニウム239	24000年	0.037

資料: (「しんぶん赤旗日曜版」(2011年8月7日))

全原発を停止しても電力不足は生じない

一般電気事業者	供給力 (原発を除く)	供給力 (原発、揚水を除く)	最大需用電力
北海道電力	624万kW	584万kW	547万kW
東北電力	1321万kW	1275万kW	1380万kW
東京電力	5608万kW	4574万kW	5500万kW
中部電力	3059万kW	2724万kW	2637万kW
北陸電力	622万kW	622万kW	526万kW
関西電力	2912万kW	2424万kW	2956万kW
中国電力	1425万kW	1212万kW	1135万kW
四国電力	596万kW	528万kW	550万kW
九州電力	1777万kW	1607万kW	1669万kW
沖縄電力	224万kW	224万kW	144万kW

資料: 環境エネルギー政策研究所プレスリリースから作成

「計画停電」や「電力制限」は原発がいかに不安定な電源かを示すものです。一方でテレビや新聞はまったく報道しませんが、次のように原発がなくても電力は確保できることは明らかです。

自然エネルギー予算削るな！
橋下大阪市長に高まる批判・抗議の声

大阪市の「市政改革プラン(素案)」では太陽光発電普及促進事業を今年度から廃止するとされ、この事業は、市民・事業者の地球温暖化防止の取り組みを支援するもので1kWあたり7万円(上限は住宅が28万円、事業者等が140万円)が補助されているものです。廃止の理由は「国の制度で普及が図られていくから」という事です。橋下市長は、当初「脱原発」のポーズを取っていましたが、大飯原発再稼働容認に態度を転換させ、そして、太陽光発電普及促進事業は廃止。批判と抗議が高まっています。



パワーアップ連続講座 一学期（1回〜7回）終了



どう考えますか？ 小学校教科担任制



「学ぶ事が楽しい」と毎回実感!

職場に若い人が増え、長年にわたって培われてきた「楽しく・わかる授業」を伝えていこうと始まった全教豊中パワーアップ講座一学期7回が終了しました。毎回若い人を中心に15人〜30人の参加があり、「学ぶことが楽しい。」と今年も好評降の主な感想です。

算数・低学年講座

☆くり下がりのひき算13ひく6ひとつにしても、たくさんのおもろさを知りました。

☆算数を教えることは「覚えてもらう」ことが第一だと考えていたのですが、「気づき」や「閃き」に出あえるような授

業作りや教具作成が必要ということに気付きました。

算数・高学年講座

☆授業での導入の方法（人口密度や電車乗りゲムなど）を教えて頂き、こちらでも楽しくなりました。何森先生の授業を想像すると、とても楽しそうだなあと感じました。大切なものに時間をかけて、子どもが授業を嫌いなにならないようにするということ。コンパス定規は購入します。

表現・発声・演劇講座

☆体を動かして、声を出すのは、はずかしいところもあるけれど、気持ちいいですね。この気持ちよさを子ども達にも体験させてあげたいです。

☆「劇」というと、とっつきにくい感じがありませんが、しりとりでやったり、役わりを交代して

やったり、おもしろくできる方法を知れてよかったです。

支援教育講座

☆今は二年生担任ですが、クラスのなかの在籍していない子どもへの対応で勉強させていただきました。

☆目からウロコの指導で、お母さんに対して、出来たこと、しつかりをきちんと伝えて家庭でのたいへんさに共感していく姿勢を学ばせていただきました。

絵本講座

☆ほつとすると、楽しいひとときでした!

市教委は、今年度高学年の教科担任制のモデル校を実施しています。

モデル校では、体育か理科での非常勤講師がつかまします。今年度は6校が希望しました。

市教委は「学力向上が目的である」と言っていますが、非常勤講師がつかますることにより、教員の負担軽減となり休憩時間が確保しやすいのでは、と考えているようです。

教科担任制になれば、教員の負担は軽減されるのでしょうか？
モデル校では今年度は講師がつくことで、理科や体育を教えることによる負担は軽減されるかもしれませんが、しかし、非常勤講師は、授業時間だけの勤務しかできません。これでは子どもたちの様子を交流したり、授業の打ち合わせをする時間がありません。

担任のみで教科担任制をすることになります。すると、教員の持ち時間数は減らず、負担軽減にならないだけでなく、クラスの子どもの様子も十分把握できないことでもてくるでしょう。

また、大阪府は正規採用を抑え、講師でまかなうことで人件費を削減してきました。非常勤講師に頼るということは雇用の安定にとっても問題があります。

子どもたちの学力向上になるかどうかは、未知数です。子どもたちの学習意欲は、学級集団づくりとかかわることが大きいからです。

もちろん、校内事情によつて、教科担任制をする場合もあるでしょう。それは、校内で話し合つて決めることですから当然です。
一律に教科担任制を導入せず、現場で十分な議論が必要だと考えます。